令和8年度 長野県公衆衛生専門学校運営協議会 議事録

日 時 令和8年 10 月 1 日（木） 午後1時～3時
場 所 長野県公衆衛生専門学校 会議室

出席者 ・関係団体代表者
・歯科衛生士会代表者
・行政機関代表者
・後援会代表者
・同窓会代表者

・学校職員 学校長 以下2名 （事務局）

---

１ 挨拶

校長から次の内容について挨拶を行った。

- 専修学校における第三者評価制度の導入に向けた国の動向について説明。
- 学校運営協議会は地域の意見を学校運営に反映させる重要な場であること。
- 少子化に伴う学生確保が大きな課題であること。
- 高校生だけでなく、小中学生への歯科衛生士職の周知も重要であること。
- 学生及び教職員が安心して学び、働ける環境づくりに努めていくこと。
- 委員から率直な意見をいただきたい旨を依頼。

---

２ 自己紹介

出席者が順次自己紹介を行った。

---

３ 議長選任

協議会規程に基づき会長を選任した。

４　会議事項

（1）令和8年度の学校運営について

事務局から資料に基づき説明を行った。

主な説明内容

- 校舎内の修繕工事及び教育環境整備の実施状況
- 非常勤講師体制の変更
- 歯科技工士会との連携による実習指導の充実
- 訪問歯科診療及び高齢者施設実習の拡充
- 学生数及び在籍状況
- カリキュラム見直しの検討状況
- 国家試験合格状況及び卒業生の就職状況

質疑・意見

- 歯科衛生士に求められる知識や技術が年々増加しており、教育内容の充実と学生負担のバランスが重要である。
- 国家試験対策のみならず、卒業後すぐに現場で活躍できる人材育成が行われているとの評価があった。
- 歯科衛生士の役割は年々拡大している。現在は予防管理や口腔機能管理が中心となっており、歯科衛生士が主体的に患者に関わる場面が増えている。
- また、高齢化が進む中で訪問歯科診療や介護分野での需要も高まっているため、今後も活躍の場はさらに広がると思われる。
- 学生の夏季休業が短く負担が大きいとの意見があり、カリキュラム見直しへの期待が示された。
- 実習を受け入れる医療機関側にも負担はあるが、指導することで職員の学びにもつながっているとの意見があった。
- 飯田・下伊那地域の学生については通学や実習負担が大きいため、同地域での実習施設拡充を期待する意見があった。

（2）令和7年度学校自己評価について

事務局から学校自己評価案について説明を行った。

主な説明内容

- 男女共通の実習衣への変更
- 訪問歯科診療関係機器等の整備
- オーラルフレイル対策教育の充実
- キャリア教育及び職域理解の推進
- 中学生向け職業周知活動の実施
- 指定校推薦制度の導入
- 授業評価アンケートの実施
- 臨床実習評価基準の明確化
- 国家試験対策の充実
- スクールカウンセリング体制の継続

質疑・意見

- 学生への個別支援や相談体制が充実しているとの評価があった。
- 真面目な学生ほど自信を失いやすく、カウンセリングの重要性が高まっているとの意見があった。
- 歯科衛生士は患者と長期間関わることができる魅力ある職業であり、その魅力を積極的に発信すべきとの意見があった。
- 歯科医療機関を利用する患者や保護者への情報発信が有効ではないかとの提案があった。
- 少子化を踏まえ、高校生だけでなく社会人を対象とした学生募集の重要性が指摘された。
- 社会人が受験しやすい入学試験制度の検討も必要ではないかとの意見があった。
- ハラスメント防止体制についても継続的な配慮が必要との意見があった。

協議結果

学校自己評価案について了承された。

（3）令和8年度学校評価様式について

事務局から学校評価ガイドライン改定への対応について説明を行った。

主な説明内容

- 学校教育法改正により自己評価及び第三者評価への対応が求められていること。
- 新ガイドラインに基づき評価様式を変更すること。
- 小項目ごとの数値評価方式を導入すること。
- 評価結果分析及び改善方策を明記する構成とすること。

質疑・意見

- 新様式は従来の評価様式より分かりやすく整理されているとの意見があった。
- これまで評価対象となっていなかった教育環境等の項目も評価できるようになるとの意見があった。
- 新評価様式の導入について特段の異論はなかった。

協議結果

令和8年度から新評価様式を採用することで了承された。

（4）運営協議会委員の増員について

地域の意見をより幅広く反映するため、事務局から新たな委員を追加する案が提案された。

質疑・意見

- 飯田・下伊那地域は実習や就職との関係も深く、地域からの意見を反映できる体制強化は有意義である。
- 行政分野における歯科衛生士の活躍も拡大しており、行政関係者の参画は望ましい。
- より広い地域から意見をいただくことで学校運営の改善につながるとの意見があった。

協議結果

委員の増員について全員一致で了承された。これに伴い協議会規程の見直しを行うこととした。委員選任については、今後、事務局において必要な調整を進めていくこととした。

５　その他

同窓会との連携について

- 委員からから同窓会と学校との関わり方について意見が出された。
- 他委員から、同窓会活動は卒業生同士のつながりを維持する貴重な活動であり、今後も継続してほしいとの意見が出された。
- また、潜在歯科衛生士の復職支援等において、同窓会ネットワークを活用できる可能性について意見が出され、今後の同窓会との連携のあり方について、引き続き検討していくこととなった。

６　閉会

次回は令和8年度の中間報告について書面開催を予定している旨説明があり、閉会した。